

令和8年度 作木中学校教育研究構想図

【学校教育目標】

「自律」・「協働」・「挑戦」

～ふるさと作木を愛し、新しい時代をたくましく生きる生徒の育成～

【研究主題】

思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方

～教科の「見方・考え方」を働かせる授業づくりを通して～

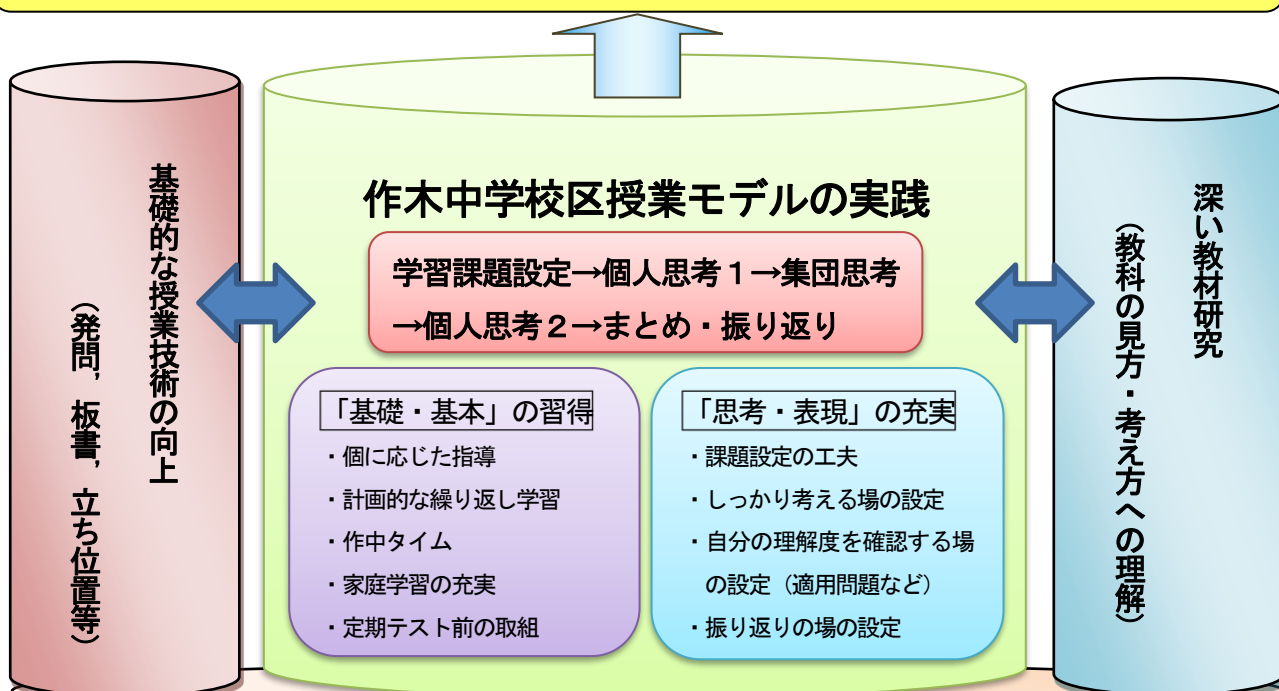
【資質・能力の育成】

○知識・技能

○思考力・判断力・表現力

○学びに向かう力

○自己理解



作木学びの環境づくり

- ① 授業開始1分前には準備をして座っておこう。
- ② 身だしなみを整えよう。
- ③ はじめ・終わりの号令を大きな声で行おう。
- ④ 発言する際は挙手！指名されたら大きな声で発表しよう。
- ⑤ 聴く際は相手を見て！自分の考えと比較しながら聴こう。
- ⑥ TPOを考えて！丁寧な言葉を使おう。

【研究仮説】

各教科等の授業において、「見方・考え方」を働かせる授業づくりを行えば、思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。

【具体的な取組】

- 作木中学校区授業モデルの実践 ～ 個人思考 → 集団思考 → 個人思考
- 「本質的な問い」に基づく単元づくり・授業づくり
 - ア 単元を貫く問いの設定 ～ 単元構想シート作成
 - イ 思考を深める発問の工夫 ～ 理由、根拠を考えさせる発問
 - ウ 「見方・考え方」を働かせた授業スタイルの確立 ～ 指導案に具体的に記載する
- ICTの効果的な活用